

地域密着型金融の具体的な取組方針

津山信用金庫

当金庫は、平成21年度～平成22年度において、地域密着型金融をさらに推進すべく、地域金融機関として地域活性化や地域の持続的な発展を目指し、地域やお客様との結びつきをさらに強め、地域経済、社会の発展に貢献する取組みをより効果的に実践していきます。

【取組方針】

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 事業再生・経営改善支援機能等の強化

①身近な情報提供、経営指導、相談機能の強化

企業支援課による経営改善計画策定先の進捗管理・指導等の経営支援サポート態勢のさらなる強化を図っていきます。

岡山下8信用金庫等の取引先を対象とした「しんきん合同ビジネス交流会」(ビジネスマッチング商談会)を平成17年9月から毎年開催しております。今後も、広範なマッチング情報を提供するとともに、内容を検証のうえ充実を図り、定期的な開催に努めていきます。

平成17年4月から発足した若手経営者の勉強会「つしん経営塾」は、今後も継続して開催していきます。

(社)中小企業診断協会岡山支部、中小企業支援センターとの情報交換会を定期的に開催していきます。

取引先企業を対象とした講演会等や、中小企業支援センターと当庫の共催による経営相談会を開催していきます。

②的確な事業再生・経営改善計画の策定に向けた取組みの強化

企業支援課の体制を強化する等、経営支援サポート態勢の充実を図っていくとともに、企業支援課による経営改善計画作成先及び営業店が中心の取組み先への改善指導強化と新たな改善計画取組み先の選定を行っていきます。

また、中小企業再生支援協議会等外部機関との連携を強化していきます。

③商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等、他機関との連携強化に向けた取組みの強化

事業再生・経営改善を支援するため、支援機能のノウハウを保有している中小企業再生支援協議会を積極的に活用していきます。

商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等との情報交換会を開催していくとともに、商工会議所、商工会提携制度融資を推進していきます。

④各種ファンド、DES、DDS等の活用

事業再生にあたっては対象企業の破綻が地域経済にあたる影響度や経済的合理性を勘案のうえ、該当事案があれば各種ファンド、DES、DDS等を導入した事業再生を前向きに取組んでいくために中小企業再生支援協議会の機能を積極的に活用していきます。

また、事業再生の専門知識や様々な手法に精通した人材を審査管理部内で育成

していきます。

⑤目利き能力の向上、人材の育成・活用

当地域の特性に加え、企業の将来性や技術力を的確に評価できる「目利き」能力や経営支援能力等が欠かせないため、全信協などによる外部研修に積極的に参加するとともに内部における研修、つしん経営塾への当庫職員の参加、また、資格取得の奨励など人材の育成に努めていきます。

(2) 創業・新事業支援機能等の強化

創業・新事業を支援するため「目利き」能力向上を図っていくとともに、支援機能のノウハウを保有している政府系金融機関、とりわけ当金庫の事業エリアに支店のある日本政策金融公庫と定期的に連絡会や勉強会を実施し、創業・新規開業案件の発掘と支援に積極的に取り組んでいきます。

日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、中小企業支援センターとの情報交換会を定期的に開催していきます。

中小企業支援センターと当庫の共催による経営相談会を開催していきます。

また、引き続き「目利き」研修には積極的に職員を派遣していきます。

(3) 事業承継支援機能等の強化

事業承継に関してセミナー開催や情報提供を行うことで、取引先企業の後継者問題等の解決に向けた支援を行っていきます。

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底

①目利き機能、定性情報の適正な評価、定量情報の質の向上に向けた取組みの強化

担保・保証に依存しない融資推進のため、担当者の各種研修会への参加により、目利き能力向上を図っていきます。特に、キャッシュフロー分析による債務者実態把握のための審査能力向上に向けた外部研修への参加と内部研修を実施していきます。

ローンレビュー規程に基づく債務者の業況把握を徹底していきます。

②中小企業に適した資金供給手法の多様化

適正金利設定等の活用に向けた信用リスクデータベースの整備・充実を図っていきます。

自己査定結果及び信用格付けに基づく各債務者毎の適性金利の設定を行うようデータ整備を図っていきます。

企業価値の見極めによる融資商品の開発や、動産担保融資（ABL）等に積極的に取り組んでいきます。

地域CLO等活用については、信金中金等との連携により検討していきます。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生

①地域経済のビジョン策定への支援、「公民連携」への参画、情報機能・ネットワークを活用した支援等

地域経済のビジョン策定への支援方法等を検討していきます。

しんきん合同ビジネス交流会の場を利用して、「公民連携」の場へ参画していく

とともに、産業クラスター計画、新連携支援、地域資源活用プログラム等、政府施策を活用していきます。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

①金融知識の普及、多重債務者問題への対応、コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資

金融知識の普及、多重債務者問題への対応、コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資について、積極的に取り組んでいきます。

4. 各種取組み内容や実績の公表

(1) 各種取組み内容や実績の公表

ディスクロージャー誌やホームページ等を利用し、各種取組み内容や実績(経営改善支援取組み先数、ランクアップ先数、創業・新事業支援融資実績、不動産担保および第三者保証を徴求しない融資実績等)をよりわかりやすく、かつ積極的に公表していきます。また、的確な情報開示のための検証、態勢を強化していきます。